



ユリカモメ40cm

ふゆばねはぜんたいに白っぽくみえ、目のうしろの黒いてんがめだつ。くちばしと足はオレンジ色。冬鳥であるが、夏にのっているものもいる。夏はあたまぜんたいが黒くなる。東京都の鳥。



ツグミ24cm

冬鳥。ひかくてき大きく見える鳥で、羽のちゃ色と目の上の白いせんがよく目立つ。はたけ、すいでん、かわらなどひらけたところでえさをとっている。はねてはたちどまり、またはねてはたちどまるといったことをくりかえす。



ジョウビタキ14cmメス

冬鳥。スズメよりもやや大きく見える。尾をはげしくふるしゅうせいがあるのですぐにわかる。オスはあたまがはい色、のどは黒くむねのオレンジ色がめだつ。オスメスともにつばさの白いもんがめだつので、「もんつきどり」とよばれている。



カルガモ60cm

ちゃ色の大きなカモ。かおに2ほんの黒いせんがめだつ。オス、メスおなじ色で、くべつはむずかしい。



ゴイサギ57cm

あたまとせなかがが黒っぽく目が赤い。あたまのうしろから白い羽がでている。よう鳥はかつ色で白っぽいはんてんがあり、目はき色。「よガラス」ともよばれ、おもによるかつどうしカラスのようなこえでなきながらとぶ。



コサギ61cm

もっともよく見られるシラサギ。くちばしは黒く、あしも黒いが足ゆびはき色。夏はあたまに2本のはねが出て、せなかにもさががカールした「かざりばね」がでる。



ダイサギ90cm

シラサギのなかでいちばん大きい。足は黒。くちばしは夏は黒いが冬はき色。夏はせなかに「かざりばね」がでる。夏鳥だが、冬ものこるものがある。



マガモ59cmオス

オスはあたまがみどり色でひかっていて白いくびわがある。メスはカルガモになるが、おは白っぽく、くちばしは黒くまわりがオレンジ色。おもに冬鳥。